

◇一ノ木戸ポプラ学園の目指す子ども◇ ～ ゆたかなかわりを求めて 夢や希望をもち 未来をひらく子ども ～



三 条 市 立 一 ノ 木 戸 小 学 校

〒955-0046 三条市興野 1-18-1
TEL 0256-33-0338 FAX 0256-33-4372
URL:<https://www.city.sanjo.niigata.jp/section/itinokido/index.html>
E-mail: sanjo.itinokido-es@edu-niigata.ed.jp

【学校教育目標】
かしこく
たくましく
あたたかく



三 条 市 立 第 二 中 学 校

〒955-0046 三条市興野 1-18-1
TEL 0256-33-1248 FAX 0256-32-6835
<https://www.city.sanjo.niigata.jp/section/dai2/index.html>
E-mail: sanjo.dai2-jhs@edu-niigata.ed.jp

【学校教育目標】
互いに敬愛し合い
たくましく
実践する生徒

児童生徒・学区の状況

- 行事等において堂々と発表したり、演じたりと優れた表現力を見せる。
しかし、人間関係を育成する力をさらに高める必要がある。
- NRT学力テスト等の学力検査は、概ね全国平均に達している。
- 明確な目的意識をもって活動に取り組む実践力や自分の生き方を確立する態度などをキャリア教育及びアントレプレナーシップ教育の視点からもさらに高める必要がある。
- 学区には、地域振興局、三条東公民館等の公共施設、商店や事業所、住宅街がある。JR東三条駅、2本の産業道路が通り、交通の要所ともなっている。

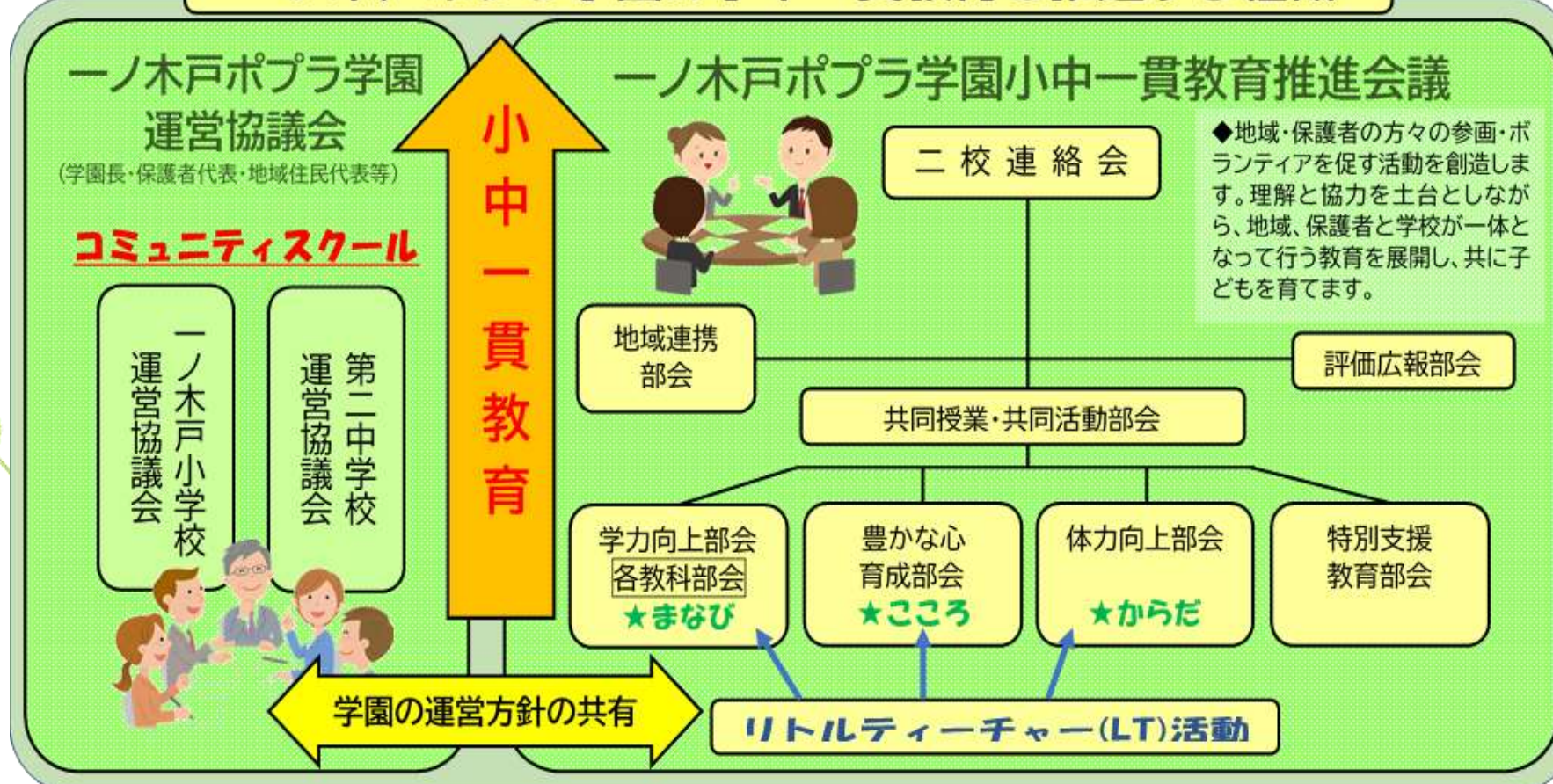
■三条市の「小中一貫教育のねらい」

- ①たくましく、すこやかに生きる力の育成
- ②心身の発達を考慮した見通しのある連続性の確保
- ③学園で一体となった教育環境づくり

■三条市の「目指す子ども」

「未来を拓き、力強く生きるための『確かな学力』『豊かな心・個性』『健やかな身体』をもった三条っ子」

一ノ木戸ポプラ学園の小中一貫教育を推進する組織



一ノ木戸ポプラ学園の 小中一貫教育活動 のひとコマ



【地域あいさつ運動】



【リトルティーチャー活動】



【キャリア教育・アントレプレナーシップ教育発表会】



【子どもと語る学園等運営協議会】

目指す子ども

ゆたかななかかわりを求めて 夢や希望をもち 未来をひらく子ども

学校教育目標

かしこく たくましく あたたかく（一ノ木戸小学校）互いに敬愛しあい たくましく 実践する生徒（第二中学校）

学園9年間で目指す5つの資質・能力

自律する

- ・自分のありのまま(良さ・欠点等)を受け止め、自分を理解する。
- ・自分の意思で判断し、責任をもって行動する。
- ・自分の行動を振り返り、次のよりよい行動につなげる。

協力して解決する

- ・多様な他者とコミュニケーションをとり、協力して活動する。
- ・自分の考えを相手に伝え、相手の意見を受け止め、納得解を見出す。
- ・地域や社会とかかわり合い、地域や社会の良さを実感したり、課題に取り組んだりする。

挑戦する

- ・なりたい自分(夢・志・目標)を描き、向上心をもって努力する。
- ・自分にとって新たなことにも意欲的に取り組む。
- ・失敗しても、試行錯誤し、粘り強く取り組む。

人を大切にする

- ・自他の違いを認め、自他の良さが分かる。
- ・相手の気持ちを考えた言動ができる。
- ・人の役に立つことに喜びを感じる。

創造する

- ・生活や社会をよりよく変化させようと、我が事感をもって、自律的に学び行動する。
- ・自分や生活の願いの具現や問いの解決を通して、新しい考えや表現、よりよい生活や活動をつくる。
- ・地域・社会の良さや課題を見出し、解決する活動をととして地域・社会に貢献する。

各部の取組

「カリキュラム策定」

まなび部

「〇で貫く小中一貫教育カリキュラム」

- 主体的・対話的な学びのための授業改善の取組
 - ・小中合同研修、NRT 分析研修
- 自己教育力を高めるための取組
 - ・家庭学習強調旬間
 - ・乗り入れ授業
 - ・学びの構え

こころ部

「自他のよさを尊重し、共に前向きに生きようとする子どもカリキュラム」

- 共感的人間関係作りの取組・いじめ見逃しゼロスクール集会
- 合唱音楽交流会
- 自己有用感育成の取組（行事後小中メッセージ交換）

ちいき・キャリア部

「キャリア教育を柱とした、あいさつ・交流活動で貫くカリキュラム」

- 総合学習発表会（キャリア教育9年間の目指す姿の具現。中3実施、小学生参加）
- キャリア教育・アントレプレナーシップ教育の視点をもとにした各種学習
- 地域あいさつ運動（毎月15日実施）
- 地域とのメッセージカード

からだ部

運動に対するモチベーションで貫くカリキュラム

- メディアコントロール・睡眠時間確保のメディアコントロールの取組（元気アップウィーク）
- 体力向上の取組
- 小中合同保健委員会
 - ・メディアコントロール等講演会
- 給食残量チェック

リトルティーチャー(LT)活動

★様々な授業等での交流活動(部活動体験)

＜学ぶ楽しさや意欲・自己有用感・達成感を味わう活動＞

★絆スクール集会（中1が小6に中学校生活についてガイダンスする行事）

★総合学習発表活動（小中が生活・総合の学習の過程やまとめを発信、交流する取組）

★体力テスト（小1～小3年生）の補助活動（体力向上の取組）

特別支援教育部

＜一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮、小中一貫カリキュラムに基づく取組＞

市県国の事業

★NRT★全国学調 等

★学校生活アンケート

★市キャリアバンク

★体力テスト、一学校一取組

一ノ木戸ポプラ学園 小中一貫の取組 主な特徴

現状

- ◆「地域との関わり」の高い肯定的評価
- ◆学園等運営協議会での年間3回の熟議を経た挨拶運動等アイデアの具現。
- ◆地域行事への関心をさらに高め、参加率を上げ、地域への愛着をさらに高める必要がある。

特徴

- ◆多種多彩な小中一貫教育の取組、リトルティーチャー活動
- ◆小中一貫教育カリキュラムの実装。「普段づかい」更新を目指す。
- ◆学園グランドデザインの改訂(R7～R8 R9改訂)
- ◆持続可能な活動を方針とする(地教行法第47条の5「業務量管理・健康確保措置」に基づく)